

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	データベース論		
英文授業科目名	Database Systems		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	平成16年度非開講		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)
データベースは、備品簿、座席予約データ等、大量のデータを集め、多数の利用者が使用できるようにしたものであり、これらのデータを効率よく記録し、検索できるようにするソフトウェアシステムが、データベースシステムである。この講義では、関係型データベースを中心に、データモデリング、データベース問合せ言語、処理系の構造と動作の議論を通してデータベースシステムの原理について述べる。

【前もって履修しておくべき科目】
(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)
離散数学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)
データ構造論, オペレーティングシステム論

【教科書等】
(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)

電気通信大学 平成16年度シラバス

教科書：北川博之,「データベースシステム」,昭晃堂,1996

【授業内容とその進め方】

(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)

(a) 授業内容

1. データベースシステムの基本概念
2. データモデリング
3. リレーショナルデータモデル
4. リレーショナルデータベース言語SQL
5. 物理的データ格納方式
6. 問合せ処理

(b) 授業の進め方

小規模なデータベースを例題として進めて行く。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)

(a) 評価方法：

期末試験(2月)の成績の評価を主に,出席回数を加味して評価点とする。

成績評価 = $3n + (\text{期末試験の成績} \times (100 - 3n)\%)$

(b) 評価基準：

- (1) データベースとその検索についての本質的理解
- (2) データ検索の具体的処理方式の理解

【オフィスアワー：授業相談】

(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)

【学生へのメッセージ】

(担当教官の決定後に変更の可能性があります。)

【その他】

本シラバスの内容は担当教官の決定後に全面的に変更する可能性があります。